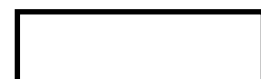


かかりつけの医師と精神科医の連携に関するアンケート(精神科医用)

質問		選択肢	
問1	「かかりつけの医師と精神科医の連携の手引き」を知っていますか。	知っている ・ 知らない	
問2	これまで、かかりつけの医師から患者の情報提供を受けたことがありますか(「手引き」の活用の有無を問いません。)	有 → A 及び B (問3～問8)へ 無 → B (問6～問8)へ	
A かかりつけの医師から情報提供を受けている医療機関(問3～問5)			
質問		選択肢	
問3	かかりつけの医師から情報提供を受ける上で、次のような困難を感じることはありますか(複数回答可)。ある場合、具体的なケースを枠内に(可能な範囲で)記入してください。	ア 患者や家族に精神科を受診することを理解・同意させるのに苦慮する イ 患者の身体疾患の情報がなく、診察時に苦慮する ウ 精神科医に来院する前にかかりつけの医師が行った精神障害の処方が適切でない エ 精神の症状よりも身体症状が重く、ある程度治療してから情報提供してほしい オ かかりつけの医師から優先的に診てほしいと要望があるが、できない(難しい) カ その他() キ 特に困難なことはない 【ケース】	
問4	これまでかかりつけの医師から情報提供を受けた中で、よくみられる症状は何ですか(情報提供書の様式にある症状を選択肢にしています。複数回答可)。	ア 興味・関心の喪失 イ 抑うつ気分・落ち込み ウ 睡眠障害 エ 疲労感 オ 食欲異常 カ 罪責感 キ 集中力低下 ク イライラ・焦燥感 ケ 希死念慮 コ その他()	
問5	これまでかかりつけの医師から情報提供を受けた患者の中で、次のようなケースはありましたか。あるものに○を付けてください(複数回答可)。また、具体的な事例を枠内に(可能な範囲で)記入してください。	ア 患者の精神障害の症状、身体症状が改善した イ 患者の精神障害の症状、身体症状に変化がみられない ウ 情報提供を受けたが、患者が通院してこない エ 通院していたが、完治しないまま来院しなくなった オ 患者が自殺を図ったことがある(自殺した) カ 希死念慮のあった(自殺企図のあった)患者が、自殺を思いとどまった キ その他() 【事例】	



B		全医療機関(問6～問8)	
質問		選択肢	
問6	かかりつけの医師と連携するに当たり、効果的と思うことや希望することは何ですか。該当するもの3つまで○を付けてください。また、枠内に(可能な範囲で)意見を記入してください。	ア かかりつけの医師に対する「うつ病」対応力向上のための研修を行ってほしい イ 精神障害改善後の対応(職場復帰、認知症予防など)に関する研修を行ってほしい ウ 情報提供を受ける前に、かかりつけの医師と個別に相談・情報交換できるシステムを構築してほしい エ かかりつけの医師から、身体症状や疾患に関する詳しい情報を提供してほしい オ 精神科医との合同研修会、意見交換会等を定期的に行ってほしい カ 情報提供する前に、精神障害の治療(処方)を適切に行ってほしい キ 情報提供するに当たって、患者に精神科受診の必要性を十分説明してほしい ク その他() 【意見】	
問7	かかりつけの医師から、「『手引き』に基づく情報提供を行った場合は、優先的に診察してほしい。」という要望がありますが、どの程度応えることができますか。	ア 可能である ウ 予約状況によっては可能である オ その他()	イ 症状が重ければ可能である エ 優先診察はしない
問8	うつ病・自殺対策のため、医療機関の立場でどのような事業を行うことが有効だと思われますか。これまでの御経験等から自由に意見を記入してください。	【意見】	

「手引き」の送付を希望される場合、下記に連絡先を御記入ください。

住所 〒 _____
 医療機関名 _____ 電話番号 () _____

***** 御協力ありがとうございました *****

